



KKベストは
Oリングにより止水する
独自構造です

KKベストの
Oリングによる止水

●フッ素系Oリング

- 効果：◆3元系フッ素ゴム使用で、耐熱性、耐化学安定性に優れ、高寿命化を実現します。
- ◆管外周に設置されるので、常に一定の設計された圧縮率を確保します。拡管のばらつきが合っても止水性に影響はありません。
 - ◆管が回転しても伸縮しても、漏れることはありません。

●プロテクトリング

- 効果：◆Oリングへの流水接触を抑制します。
◆Oリングの1次側へのはみ出しを防止します。

独自構造により数々のメリットが生まれます

高速施工

緩み無し

施工完了
確認が確実

地震、曲げ
にも強い

1 外部からの異物接触と付着防止



管に付着の金属片の他、外部から継手の端部へ侵入する異物の付着も防止ください。

KKベストの継手端には防塵シールを貼って、異物がOリングに付着することを防止しています。

しかし、右の写真のように、シールを剥がして、養生されない場合、切粉や埃、シール材などの異物が侵入して継手内に残留し、漏れにつながる恐れがあります。

防塵シールは接合する直前まで、剥がさないでください。



この防塵シールは管を挿入する直前に剥がしてください。

2 Su管の切断時の切粉は必ず除去してください

メックからのお願い 切断作業後は必ずステンレス管内の残留切粉を除去してください。

右の写真のように、切断口を下にして、トントンと叩く程度でOKです。

配管内の残留切粉が取れない場合は、ブラシなどで清掃してください。



ステンレス管の切断にはバンドソーを推奨していますが、切断時に多くの切粉が管内に残留します。



3 Su管の面取り(内面・外面とも)は必ず実施し、異物は除去してください

メックからのお願い バリの有無に関らず、Su管の端部の外周、内周に沿って、面取りを実施ください。

当社ではレックス工業株式会社の面取り機(SU60P)を推奨しています。

管の継手への差し込み時に、Oリングを傷付ける事の防止で、この作業を必ず実施してください。

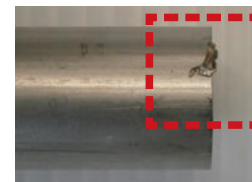


レックス工業株式会社 SU60P



管の外面や、内部に異物が残留していない事を確認してください。

バンドソー切断でも、刃物の状態により、管端部にバリ状の金属片が残留します。



このようなバリ状の金属片が付いたまま配管すると、Oリング付近で引っかかって漏れの起きる恐れがあります。×印写真は漏れ品です。

